

ポブベっくのやさしい投信信託

第5回 投資信託のメリット その4

前回までは、投資信託を購入するメリットを、株式投資信託と債券投資信託に場合わけをして解説しました。しかしながら、あくまでも国内の債券や株式に投資する投資信託を念頭においてきたのです。そこで、今回は、海外の債券や株式に投資する投資信託について解説しましょう。

(2) 投資信託のメリット

海外債券に投資する投資信託のメリット
今回は Bloomberg という情報提供会社の W E B サイト (<http://www.bloomberg.com/jp/jphome.html>) にアクセスして、海外の金利を比較してみましょう。

残存5年の債券の利回り

国名	利回り(%)
日本	0.648
ドイツ	4.565
イギリス	5.055
アメリカ	4.759

4月14日現在

如何ですか？日本の金利に比べ海外の金利がとても高いということが分るでしょう。こういった海外の債券を手軽に買うことが出来るのも、投資信託の魅力です。個人でも海外の債券を購入することは出来ますが、円をドルやポンドに換えるためのコストや面倒くささを考えたら、投資信託を利用する価値はあるでしょう。

海外の債券は、日本に比べ利回りが高いという以外にも、日本にない特徴があります。特に米国の債券市場に言えることですが、海外には多種多様な債券が存在するという事です。デフォルトの可能性は高いけれども10%以上の利回りの債券とか、金利が上昇したときに価格が上昇する債券、デフォルトの可能性は低いのに元本が何時償還されるか分からないために利回りが普

通よりも高い債券などなど。このような債券は仕組みやリスクを理解するのが難しく、個人投資家が直接購入するには相当な勉強が必要です。専門家をお願いする価値は十分にあるのではないのでしょうか。

海外株式に投資する投資信託のメリット
海外の株式といっても、アメリカやイギリス、フランス、ドイツなどの先進国の株式市場と、南米や東南アジアなど、いわゆるエマージングマーケットと言われる市場では、株式への投資のリスクや期待できる収益が違ってきます

今回は、NYを例にとって国際分散投資の重要性について考えてみましょう。

1999年12月末現在

		日経平均	NYダウ	NYダウ 為替考慮	半分ずつ
①	1974~1979	7%	0%	-5%	1%
②	1979~1984	12%	6%	8%	11%
③	1984~1989	25%	15%	3%	19%
④	1989~1994	-10%	10%	5%	-7%
⑤	1994~1999	-1%	25%	25%	9%

(注) 再投資の効果を考慮

この表は、日本の株式市場動向をあらわす日経平均と、アメリカの株式市場動向をあらわすNYダウの二つについて、5年ごとにその投資収益率を年率に直して比べたものです。ただ、我々がアメリカ株式に投資する時には円をドルに換えなければならないので、NYダウの収益率の隣に、為替を考慮した収益率を並べてあります。

日経平均は や の期間には年率10%以上の高い収益率になりましたが、 の期間にはマイナスとなってしまっています。また為替を考慮したNYダウの投資収益をみると、 の期間は年率20%以上の高い収益となっていますが、 の期間はマイナスでしたし、 の期間も合格といえるような収益ではありません。

つまり、NYダウに投資したとしても、日経平均に投資したとしても、良い時期と悪い時期があったのです。良い時期にだけ投資したいと思うのが普通かもしれません

が、将来のことは誰にも分かりません。そこで、NYと日本の株式市場に半分ずつ投資した場合を考えてみましょう。一番右端の列をごらん頂くと分るように、マイナスの時期もあるもの、安定的に高収益となっていることが分ります。

分散投資の重要性は前回までに解説しましたが、株式市場を日本だけではなくアメリカやその外の国に広げることで、分散投資の効果は更に大きくなるのです。そして、海外の株式への投資を手軽に行えるのが、投資信託の魅力でもあるのです。